

ギャルブタバナ調教編／シナリオ

ギャル「う、う～～んっ……ここどこ?…」

小悪魔「おはよーございまーす。あなたをハ××ースで拉致ってえ…監禁しちゃいましたあ」

ギャル「ちょ…どういこと…?か、監禁って…?」

小悪魔「私は…あなたに仕返しの依頼を受けたエージェントで～す」

ギャル「し、仕返しとか監禁って…いったいなんのことお?」

小悪魔「それはあ…昔、あなたにいじめられていた男の子から…ブタ鼻調教でえ…メス豚肉便器にしてほしいという、ご依頼がありましてえ～」

ギャル「そんなの…ありえないしい…っっていうか、早く帰して欲しいんだけどお…」

小悪魔「無理無理い～きっちり、メス豚調教して、帰りたくないようにしてあげる、うふっ♪
それに…力が入らないようにしてあるからあ…抵抗しても無駄無駄無駄♪」

ギャル「)んはあっ～～っ…な、なにそれ…?」

小悪魔「それは…いじめをしてたあなたが悪いのかな～?まあ、そんなことはどうでもよくてえ…鼻フック調教開始～～っ♪」

ギャル「や、やめてっばあ…んん～～っ…ふんごっ…ふがっ…こ…っこれ…なんなのお～?ふがふが…ふんごおっ…」

小悪魔「ギャルなあなたにはあ…とってもお似合いなあ鼻フック♪これで、鼻の中までえ…ま・る・み・え♪うふふっ」

ギャル「ふがふがっ…んん～～っ…あ、あんた、ど、ドヒヤ(チャ)クソムカつくんだけどお～
い、いいかげんにひへえ～～…ふんふんっ…」

小悪魔「うふふっ…なんかちゃんと言えてないしい…さっきから興奮してえ…ハナクソでちゃってますよお～♪」

ギャル「そ、そんなあ……ん～っ!んんん～～っ…んんっ!!んん～っ!」

小悪魔「無理してハナクソ我慢しても無駄あ～
それにい…こうやって、鼻の周りをコチョコチョしちゃうとお…」

ギャル「ん、んんっ、んんん～～っ…ふっ…ふうっ…ふんっ…ふんがああっ…!ふごふごおっ…
ふんがあっ…おほおっ～～、ふじゃけにやいれえ…あはあっ…はあっ…はあんっ…んん～～っ…
らめえ…ふごっ…ふごごおっ…」

小悪魔「ほらほら…もっとやっちゃうの…ワキのしたとか、くすぐったいところもちょこちょって…うふっ…♪」

ギャル「んはあっ…ふがあっ…ぷはあっ…ぷはあ～っ…んぶおっ…ひやあっ…やめれっ…ぶひっ…
むほほおっ…んん～～っ…ぶほほおっ!…んふう～～っ…ふごおっ…ふんごおっ…んへあ～っ…
むはあっ…むはあっ…もう…らめえ…」

小悪魔「あら？ブタバナくすぐりの刑で降参しちゃうのかしらぁ…？
それならぁ…自分はぁ…ゲロ豚マンコってえ…みとめちゃいなさあい」

ギャル「ひやぁっ…！んほおっ…ふがふがぁ…ぶふんっ…ぶぼおっ…はぁんっ…も、もうらめれふう～～っ…
ふんがっ…くしゅぐりはぁ…も、もう許しひへえ…
はぁんっ…ふがっふがっ…むほほおお～～っ…こ、これからぁ…げ、ゲロ豚ぁ…マ、マンコ女(おんな)としてえ…
なんでも言うことお…ききましゅう…ぶひっ…ぶひいっ…」

小悪魔「まぁ…あっさり負けちゃってえ…まずは調教の手始めとしてえ…
頭の悪いビッチギャルの自己紹介と…いじめの謝罪をしてもらおうかしらぁ…？」

ギャル「んん～っ…自己紹介と…しゃ、謝罪って…ふんごおっ…ば、馬鹿馬鹿しい…んんっ…むほお…」

小悪魔「いいのかしらぁ？今度はぁ…エンドレスでくすぐりの刑で…過呼吸にでもなるつもり…？」

ギャル「ちょ、ちょっとまってっ…や、やめ…んん～っ…ふんごっ…」

小悪魔「うふふっ、もうくすぐりだけで…チキンになっちゃってえ…じゃあおねがいしま～す♪」

ギャル「んん～っ…わ、わたしの名前はぁ…ふんごっ…マ、マキですい… んんっ…んっ…ふんがっ…ふんごっ…い、いじめ…す、
すいませんでしたぁ～…ふんごっ…」

小悪魔「う～～んっ…イマイチ～っ…もっとお…ドスケベビッチらしくやってくれますう～？
それにい…謝罪はぁ…もっとお…色々あるでしょ～っ…ふふっ♪」

ギャル「わ、わかりましたぁ…んんっ…ふごっ…ふんごおっ…は、はじめましてえ～～～っ…
むひっ…ぶ、ブタバナビッチのお…ドスケベマンコのお…マ、マキでしゅうっ…ぶひっぶひいっ～～んっ…
おっぱいはぁ…88 のお…D カップぶひい～っ…ウエストは…57 センチ～っ…ヒップ…86 センチブヒい～～んっ…
ふんがぁっ…いつもお…エロい香水を…ブンプ～～んってえさせてえ…チンポを誘ってまぁ～～すっ…
ふんがぁっ…ふんごっ…ふんごっ…も、もちろんっ…チンポがぁ…大好きブヒい～～っ…んん～～っ…
ほごっ…ふんごおっ～～」

小悪魔「はいはいっ…自己紹介よくできましたねえ～っ。次はぁ…謝罪の言葉おねがいしまぁ～～すっ」

ギャル「ふごっ…ふんっ…ちょ、超低脳のお…オマンコギャルがぁ…い…いじめをしてえ…ご、ごめんなさいブヒい～～んっ
お詫びにい…ゆるゆるのお…バカマンコにい…むほっ…たっぷり種付けしてくださいぁ～い…ふんごっ…ぶひ～～っ…
もちろんっ…マンコだけじゃなくてえ…こっちの穴も使ってえ～～んっ…あはぁ～～んっ…
ふごっ…メス豚女にい…お仕置きチンポ入れてえ～～んっ…ふんごっ…ふんごおっ…！」

小悪魔「やだぁ…肛門までおっぴろげてチンポのおねだりなんて…ホントにドスケベメスブタマンコってかんじねえ…
まぁ…謝罪も終わっちゃったようだし、今回の依頼主に登場してもらおうかしらぁ…それではぁ…入って来てください～」

ギャル「んほっ…ぶひっ…ぶひひっ…あっ…こ、この人お…」

小悪魔「久しぶりのご対面だったみたいですけどお…いじめてた頃より、もっともっとキモオタぶりに磨きがかかってえ… 体臭も
すっごくクサ～イことになってるのよお～～んっ…」

ギャル「んほおっ…わたひい(私)…くっさいニオイでえ…ま、マンコ疼いてるう～…ふんごっ…むほっ…
もっとお…クッさいくっさいニオイ嗅ぎたい～んっ…んん～～っ…ふんごっ…むほっ…ふんがっ…」

小悪魔「あらぁ……この部屋の催淫ハーブ効いてきたのかしらぁ…?こんなに鼻の穴を広げてたらぁ…
効果絶大よねえ…。」

ギャル「ほごおっ…んほおっ…ふんがあっ…クサイニオイでえ…ふんがあっ…ブタバナマンコお…おかしれえ～んっ…
むふうっ……ふんごっ…ふごおっ…」

小悪魔「このハーブはぁ…ニオイで催淫効果がアップするようにい…調合されてるからぁ…ブタバナにはピッタリよねえ…
うふふっ…」

ギャル「おほ～～っ…ふごっ…もっとお…におい～～んっ…ふんがあっ…ふごっ…
あ、汗ビッチヨリのお…わ、脇の下ぁ～～んっ…んはぁ～～っ…ふごふごふごおっ…」

小悪魔「あらあら…もうむしゃぶりついちゃってえ…ド変態なんだからぁ…
でも…ちゃんとメス豚のエサってことをわきまえてねえ…」

ギャル「んほっ…むふんっ…ふんがあっ…んほおっ～～っ…はふうっ…ぶ、豚の餌ぁ…はあんっ…おいしいれしゅっ…
レロレロレロオ～… ふんごっ…ふごおおっ～～っ…ぷはあんんっ…わき汗え……んん～～っ…
レロレロおっ…ふんっ…んふ～んっ…ふがあっ…
鼻マンコがぁ…脇毛でえ…おかされてりゅうう～～んっ…んはあっ…はあんっ……ふんごおっ…んふう～～～んっ…」

小悪魔「それじゃぁ…お待ちかねのお…キモオタチンポもお…たべていいわよおんっ…」

ギャル「ふぁ～～いつ…(はーい)…いららきまぁ～～しゅっ…ふんごっ…ふごふごおっ…チンカスう…
チンカス、ちんかしゅう～～ん… ふんっ…ふんっ…ふんふんっ…んはぁ～んっ…
鼻の穴ぁ…ちんこのニオイ～～んっ…んはあっ…
チンポでえ…豚鼻マンコ…いくう～～んっ…ブヒブヒブヒい～～んっ…ぷはあっ…んん～～っ…ふんごっ…
んほお～～んっ…!」

小悪魔「んはあっ…なんだかぁ…火照ってきちゃったみたぁ～いつ…んんっ…はあんっ…」

ギャル「んはあっ…はあんっ…んん～～っ!?こ、ここお…しゅごいニオイ～～んっ…ふんごっ…んほおおっ…
き、金玉のシワぁ…んん～～っ…レロレロレロオ～～んっ…んんう…んん～～っ…!んん～～っ…んふう～～～んっ…!」

小悪魔「あらぁ～っ…金玉、鼻に押し付けられちゃってえ…ますます豚鼻になっちゃうの… うふふっ…でもお…うらやましくなっ
てきちゃったわぁ～んっ…んはあっ…」

ギャル「んへえ～～っ…ち、ちんぽお～っ…ふんがっ…ふがあっ…んはあっ…んはぁ～～んっ…ぶひっっ…ふごふごおっ…」

小悪魔「はあっ…はあっ…一番おいしいところを残して、飛んじゃうなんてえ…もったいな～い…
それじゃぁ…この小悪魔女王様がぁ…代わりにいただきちゃいまぁ～す…。
もちろんお鼻に…は・な・フツ・ク～ん♪んふう～～っ…ふんごっ…」

ギャル「んへっ…ち、チンポお…んほっ…れろおっ…んんっ…フガフガっ…ふんがっ…」

小悪魔「ふごっふがっふんごっ…!鼻の穴ぁ…まるみへえ～～んっ…ふんがっ…
こ、これからあっ…キモオタ様のお…ケツの穴のニオイ…いただきまぁ～すっ…んほっ…んほおおっ…!」

ギャル「んんっ…はあんっ…きょ～れっつなぁ…におい～～んっ…んはあっ…ふごっふんごっ…いっしょにい…こ、こうもん～～～っ
…」

小悪魔「ふんがっ…ふんがあっ…こ～もん、こ～もん、こ～もん…んへえ～んっ…
も、もうケツのニオイでえ…んほほおっ…ブタになりゅっ…私い…ケツ舐め豚マンコれしゅう～んっ…
れろれろれろお～んっ…ふごっ…ふんごお～んっ…」

ギャル「あはあ～んっ…あなる～んっ…臭いクソ穴でえ…んほっ…んほお～んっ…ニ
オイでえ…マンズリとまんないぶひい～んっ…へあぁっ…」

小悪魔「んはぁっ…はぁっ…ブタバナ肉便器ふたりのお…ケツ穴とマンコの舐め合い…ご鑑賞く dashya あ～いっ…
んん…ふんごおお～んっ」

ギャル「んほおっ…んほお～んっ…肛門いいのお…んへえ～んっ…ケツマンコにい…ペロはいつてえ～んっ…
んちゅっ…んほあっ…んっ…んはぁっ…フガフガ…ふんがっ…
ま、マン汁もお…んん～んっ…くさくさなお～んっ…」

小悪魔「んほおっ～んっ…け、ケツ穴あ～んっ…じゅるるっ～んっ…ほええ～んっ…
ふがっ…ふんがっ…ケツのにおいっ…ふんごっ…むほおっ…あはんんっ…
こ、こっちもお、ケツマンコなめられてるう～んっ…んへえ～んっ…まんこお～んっ…ふんがあっ…れろれろお～んっ…」

ギャル「す～～～は～～～んっ…はぁっ…それにい…っむふう～んっ…ケツ穴あ…んへえ…臭すぎい…
ぷふう～んっ…むひいっ～んっ」

小悪魔「はぁっ…んはぁっ～んっ…しゅごいでしゅうっ～んっ…まんこおまんこお…けつまんこお～んっ…
ふんがっ…ふごごおっ…」

ギャル「はあんっ…はぁっ…ぶひっ…ぶひふひい～んっ…そのクサくてえ…バキバキのチンポ様でえ…このブタマンコにお仕
置きしてくださいブヒい～んっ…はあんっ」

小悪魔「んへあぁ～んっ…ぶひいっ…マンコとマンコを…重ね合わせてえ…チンポぶち込みい…お待ちしてますブヒい～ん
…ふんごおっ…」

ギャル「はあぁ～んっ…デカチンポお～んっ…んほおっ…ふんごふんごおっ…ひぐっ…ひぐうう～んっ…ふんごおっ…いじめ
ひへへえ～んっ…ご、ごめんらしいい～んっ…んひっ…むほおっ…んはぁっ…これからあっ…ふんごっ…
肉便器ブタとしてえ…ふんごっ…ケツもマンコもお…ズコズコしてえ～んっ…ふんがあっ…」

小悪魔「ふんがあっ…ぶひぶひぶひい～んっ…チンポでえ…マンコお…かきまわしゃれてるう～んへっ…ふんごおっ…!
もっとおっ…もっとおっ…チンポとマンコでえ…豚セックスう～んっ…ふんごっ…ふがあっ…いっ…いぐっ～んっ…」

ギャル「んん～んっ…ブタマンコにい…チンポお～んっ…ふんがっ…ふごごっ…んほお～んっ…イグう～んっ…んはあぁっ…
ふんがっ…いいれしゅうっ…いいぶヒい～んっ…ふんがあっ…デカチンポブヒい～んっ…」

小悪魔「ふんがっ…ふごごっ…んほお～んっ…チンポお～んっ…ブタのケツにい…ふんがあっ…チンポいいれしゅうっ…ふご
ごっ…チンポセックスブヒい～んっ…」

ギャル「ふんごっ…ふんごっ…ふごおっ…わ、わたひい…げ、ブタバナ肉便器い～んっ…へあぁっ～んっ…
ぶひい～んっ…ち、チンポお…好きい…ふんごっ…チンポマンコだい好きれしゅう～んっ…ふがっ、ふががあっ!
ブタ鼻女を…ずっとお…飼育してく dashya あ～い…ぶひひ～～～んっ!」

FIN